

令和3年度 茨城支部事業報告

まえがき

原子力国民会議茨城支部は、平成30年6月2日に発足し、「設立記念講演会」、「原子力フォーラム茨城」(2回)、「サイエンスカフェ茨城」(8回)、原子力施設見学会などの原子力の理解促進のための活動を行ってきた。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大によるまん延防止等重点措置の中、茨城支部設立3周年記念事業として特別講演会を実施するなど、支部の運営基盤の強化につなげるための事業を行なった。

1 第3回「原子力フォーラム茨城」の開催

原子力国民会議茨城支部設立3周年記念事業として、第3回「原子力フォーラム茨城」一脱炭素社会を目指し、原子力発祥の地茨城から原子力の再興を一を開催した。

・開催趣旨

私たちを取り巻く昨今の世界情勢、特に近隣アジア情勢から見た安全保障に関する課題、並びに、今後の日本の重要な課題「カーボンニュートラル」及び計り知れない影響を与えた原子力規制に関する課題のご講演をいただき、茨城県民一人ひとりの問題と捉え自ら考える機会とする。

・日時：令和4年2月19日(土) 13:10～15:10

・場所：トヨペット スマイルホール 大洗(大洗文化センター)

・プログラム

○特別講演 「今日の国際情勢と日本のエネルギー安全保障」

講師 ジャーナリスト

公益財団法人国家基本問題研究所理事長櫻井よしこ氏

○講演 「カーボンニュートラルと原子力規制に関する課題」

講師 衆議院議員

自由民主党経済産業部会長石川昭政氏

・参加者：一般市民、会員、地域オピニオンリーダー等 約400名

2 第2回「原子力フォーラム茨城」において採択された提言の活動

提言の具現化に向けて「新照射試験炉誘致検討会」を設置して3回開催し、報告書を取り纏めた。

・検討会の構成

委員：学識経験者、立地地域の行政・議会議員、商工業者、原子力事業者

オブザーバー：地元衆議院議員秘書、町役場担当者

特別出席者：日本原子力研究開発機構、東北大学金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター

- ・実施内容：JMTR 後継炉としての新照射試験炉に関する調査検討を行い、提言を取り纏めた。

3 市町村議会議員による「議員ネットワーク」との活動

「議員ネットワーク」の議員を中心に、上記2に参画していただいた。コロナ禍により、勉強会の開催は見送られた。

4 地域活動のための基盤整備

(1) 原子力国民会議本部及び各支部との連携

- ・季刊誌「原子力の新潮流」の配布
- ・本部主催の企画イベント等への参画

(2) 支部会員加入への取り組み

- ・茨城支部（所管）会員名簿を整備した。
- ・第3回「原子力フォーラム茨城」プログラム（パンフレット）に茨城支部の3年間のあゆみの紹介、会員の入会方法、等を掲載した。今後の会員募集へ繋げていく。

(3) 支部活動の紹介と情報提供のためのホームページ（HP）の活用

整備された茨城支部会員リスト（Eメールを含む）に基づき、HPを更新するごとに「お知らせ」を配信した。

以上